

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	町田 規憲 (まちだみのり)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	人間科学研究科 博士後期課程 3年
発表年月 または事業開催年月	2022年 9月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	日本心理学会第86回大会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	町田 規憲・田野邊 果穂・田山 淳
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	社会機能障害に対する自己およびタスク制御プロセスの予備的検討
<p>発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)</p> <p>精神疾患においては、臨床症状に加えて、それに伴う心理社会的支障である社会機能障害が診断基準に含まれている。いかなる精神疾患においても、臨床症状だけでなく社会機能障害の寛解が临床上重要視されている一方で、その維持増悪および寛解プロセスについては不明瞭である。近年では臨床症状と社会機能障害に共通する制御プロセスとして、実行処理の個人差が想定されている。本研究では、実行時の焦点の異なる実行処理を含めた相対的予測力を検討した。その結果、従来介入標的として重視してきた要因を統制しても、これらの異なる実行処理が社会機能障害の寛解基準を予測することが示された。これにより、今後の心理社会的支援の発展の基礎になる知見が得られたといえる。</p> <p>本発表ではこの成果を報告し、研究の今後の発展について様々な専門領域を有する専門家とディスカッションを行った。その結果、今後につながる新たな研究の着想につながった。</p> <p>・詳細は以下に添付の通り。</p> <p><a href="https://confit.atlas.jp/guide/event-img/jpa2022/288108-114-02/public/pdf?type=in">https://confit.atlas.jp/guide/event-img/jpa2022/288108-114-02/public/pdf?type=in</a></p>	

※無断転載禁止